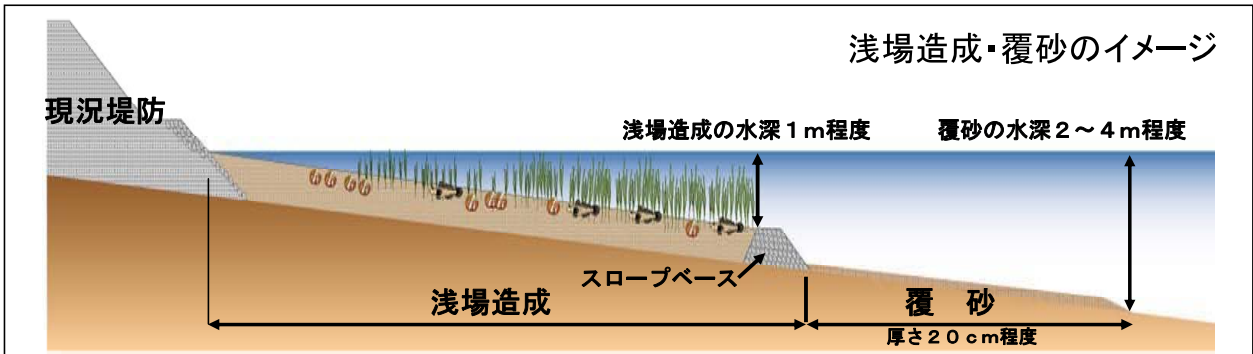


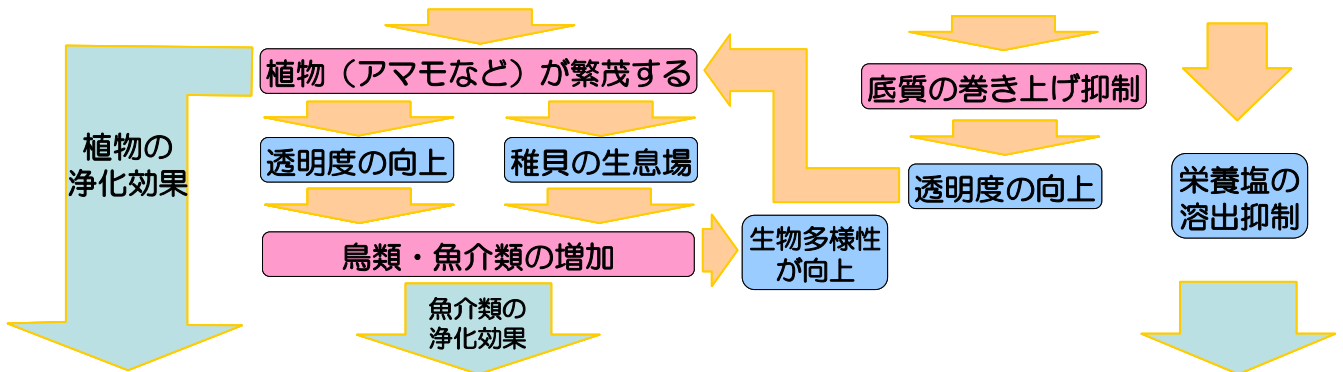
浅場造成事業について

中海の自然浄化機能の回復 <浅場・藻場の造成>



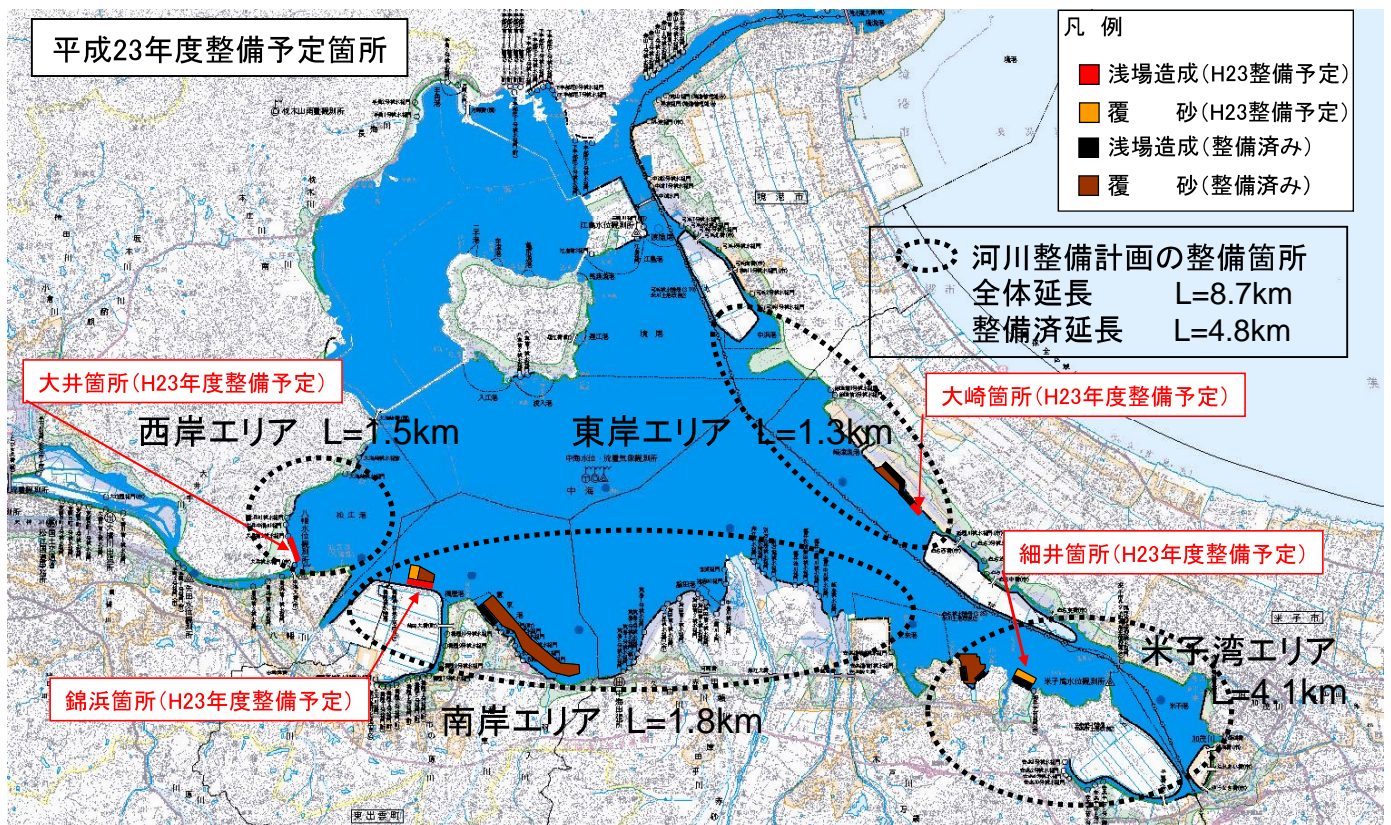
浅場造成により動植物の生息生育基盤できる

覆砂により底質改善及び波浪条件の緩和



- ◎海草藻類などの植物が湖水中の窒素やリンを吸収する。
- ◎魚や二枚貝等が植物プランクトンなどをエサとして食べる。
- ◎ヘドロからの窒素やリンの溶け出しを抑制する。

→ **水質浄化**



中海の地下湧水水域モニタリングについて（鳥取県）

1 目的・背景

- ・ 中海保全計画の「長期ビジョン」を実現する湖沼の生態系環境の保全、水質浄化、親水性の確保等の観点から、浅場造成やアマモ場再生などの環境整備事業が進行中である。
- ・ 一方、中海の一部の限られた水域には、地下からわき出る湧水によって中海本体とは違う比較的良好な水質を保っている箇所（以下、湧水水域）があるとの報告がある。
- ・ しかしながら、この湧水水域の調査や実態把握がほとんど行われておらず、情報が乏しいのが現状である。
- ・ 生態系保全や水環境保全の立場からみると、この湧水水域は、現在の中海においては貴重な水域であり、これらを前述の環境整備事業に応用することによってより一層の生態系環境の保全と再生、水質浄化、さらには利活用への発展が期待できる。

2 調査実施内容など

- ① 湧水水域の水質調査等（湧水水域の確認）
→ 湧水（量、水質等）の調査
- ② 湧水水域の水環境・底性生物等の調査
→ 湧水水域のアサリや海藻類の資源量調査



3 調査想定水域

右地図のとおり

4 参考資料

湧水が生物等に及ぼす作用・効果について

（新井省吾 2010年島根大学汽水域研究センター 汽水域研究発表会講演要旨集より抜粋）



図1 安来市新十神町油壺鼻東岸の遠浅の場所においては、透視度が高い。



図2 米子市大崎の浅場造成された難岸堤内では、下層の透視度が高く、アサリなども生息する。

	作用	効果
透水	地下への有機物連行とによる有機物の分解	下流に移動する有機物の減少
湧水	水温の安定	生理的適域の拡大
	無機態の栄養塩の供給	海藻類の成長促進
	沿岸から透水した水による酸素の供給	底質の硫化の阻害
	面的な湧出による堆泥の阻害	二枚貝などの幼生の着底促進
	干潟における滞筋の形成と移動	底質の硬度化阻害
	淡水あるいは汽水の供給	生物の避難場所の形成

表1 湖岸・海岸域における透水と湧水の効果

中海の水質保全



流入する汚濁負荷量の削減

- ・ 下水道などの整備
- ・ 流出水対策
- ・ 住民の理解・協力

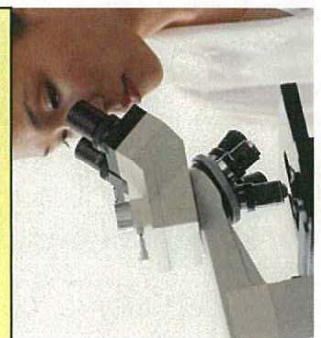


浅場造成

藻の活用



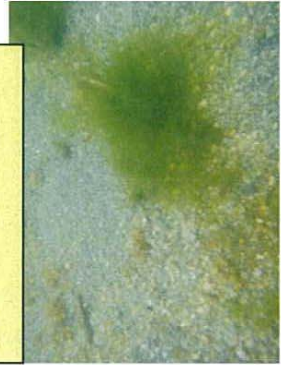
産業利用に向けた
藻の調査研究



海藻刈りによる
栄養塩の湖外搬出



藻の生育環境向上



湧水調査

